

■CeBITセビットメッセ■
国際情報通信技術見本市

開催日程：2006年3月9日～15日
場所：ドイツ ハノーバー国際見本市会場

3月に、ドイツのハノーバーで開催された国際見本市に出展しました。ドイツの代理店パフォームテック(Perform Tech AG)が中心となって運営したブースには、Hildesheim市長も来訪されました。

ヨーロッパへ、また世界へとSR製品を展開するための大切な一歩となりました。

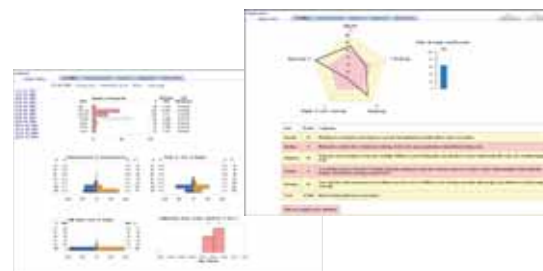


①NAVIgates (M12Dのドイツ版)
②SRcomm ③SRPocket ④SRVideo

パフォームテック
ドイツ代理店: Perform Tech AG
<http://www.performtech.de>



Hildesheim市長(右から2人目)



英語版SRソフト画面
(実際とは多少異なります)

■SRセミナー in 愛知■

開催日程：2006年4月21日(金)
場所：愛知県小牧市 ホテルルートイングランディア

4月に、第10回SRセミナーを愛知県小牧市で開催しました。会場では、安全活動全般の中でSRを活用して自動車事故予防を実践していただけるユーザー様に、ご講演いただきました。続いてSRの様々な活用方法について、熱心な意見交換がなされました。



交通安全対策の3つの制度

- 1. 社会保険料率決定制度(1979年導入)
- 2. トレーナー制度(1983年導入)
- 3. コンダラー制度(1993年導入)

SR: 自動車事故フライトレコーダーによる運用方法(標準パターン)

ヒヤリハット映像による指導で効果を上げています。

これからのイベント予定

次回SRお客様交流会は、2006年7月18日(火)を予定しています。
内容詳細は別途お知らせします。

SRNEWSに関するお問い合わせはこちらまで

発行:株式会社データ・テック **datatec**
〒144-0052 東京都大田区蒲田4-42-12 TEL:03-5703-7041 FAX:03-5703-7043
<http://www.datatec.co.jp> 担当:百武 (sales@datatec.co.jp)

SRNEWS

VOL.25 やさしい運転 Safety Recorder
株式会社データ・テック

2006年5月

ユーザー探訪

富士ゼロックスシステムサービス株式会社
公共システム事業部 尾形慎一様
「2ヶ月間事故ゼロ達成」



今回は富士ゼロックスシステムサービス株式会社公共システム事業部をお訪ねし、昨年10月からご導入いただいたSRcomm(以降SR)の効果について事業企画部事業計画課の尾形慎一様にお話をうかがいました。

事故を起こした個人だけにSRをつけるのではなく、支店長はじめ支店全員で安全について取組んだ結果、SRを取り付けていない支店でも安全についての意識が向上し、事業部全体で事故削減につながったとの事です。

■会社概要

富士ゼロックスシステムサービス株式会社は、1988年設立以来、企業の基本理念として、「限りない前進」を目指し、時代に先駆けた「戸籍総合システム」「電子自治体システム」「Webソリューション」「プリントオンデマンド」「デジタルプリンティング」事業の推進を通じて、加速するIT革命の中でリーダー的役割を担ってきた企業です。その最先端を担う営業マンは、営業車で日本全国の地方自治体を駆け回っています。



尾形 慎一様

■SR導入決定までの経緯

SR導入のキッカケは、2005年上期に重大事故が重なったことです。人身事故や全損事故が重なり、方策を考えていました。最初はまずデジタコの導入を考えていたのですが、デジタコは新車に恒久的配線工事が必要なため、現在の営業車には設置できず断念しました。その後他社製品と比較検討した結果、次のような理由により導入を決定しました。

- ・シガーソケットで簡単に設置できる
- ・GPSと方位ジャイロでの計測ができる
- ・メディアがメモリースティックで扱い易い
- ・設置後の費用が発生しない

車載機の大きさだけが心配だったのですが、思ったよりコンパクトで助手席の床に設置でき、全く問題はありませんでした。

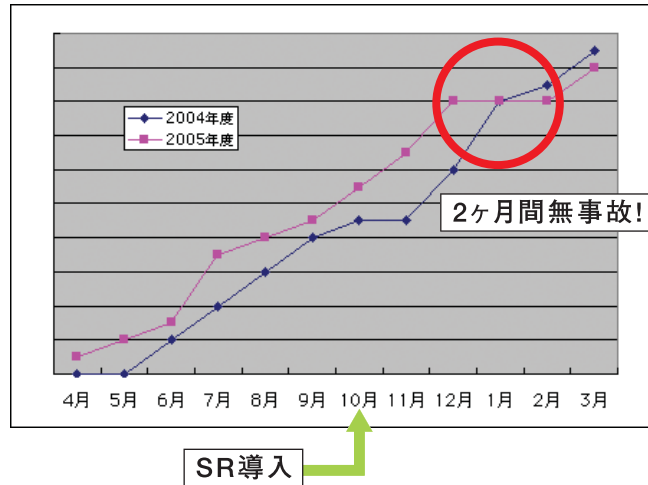


参考:助手席床に設置の例

SR導入後2ヶ月間事故ゼロ

9月末に50台購入したSRを、まず事故が多かった首都圏支店全車30台に設置しました。導入の効果は劇的でした。事業部全体で見ると、10月以前は前年度を上回る累計事故件数で推移してきましたが、2005年10月からSRの運用を始めたところ、1月、2月には事故件数がゼロとなり、結果的には累計事故件数が前年度を下回りました。(下のグラフ参照) これは、軽微な事故も全てカウントしていますので、重大事故に限れば、この半年でほとんどなくなったと言えます。SRの効果を確認出来たので、更に20台を追加購入しました。

<累計事故件数>



危険な冬も事故ゼロに!

東北・北海道地方は、冬は雪のため毎年スリップ事故などが増える傾向にありました。そこで、今年は12月から3月まで約3ヶ月間SRを設置しました。結果、今年は大雪だったにもかかわらず、同地方では事故ゼロとなりました。

めざせ!支店長の点数

導入するにあたっては、各支店長もSRを設置して運転をしました。どのような運転をすれば良い結果になるのかという事を事前に説明をしましたところ、各地の支店長はすべて最初から70点80点の高得点が出ました。SRを設置した当初、営業マン達の運転診断点数は、ほとんどが30点台の点数でしたが、SRの特性を説明し仕組みを理解するに従い段々点数が上がっていきました。現在は、月平均で80点90点の運

転診断点数が出る営業マンも多く、初期の支店長の点数がお手本になったとも言えます。

毎月の運用

個人の運転診断の点数は毎月1回まとめて出力しています。ドライバーはメモリースティックを1人2枚ずつ持ち交互に使用しています。点数は導入当初は平均37点でしたが、毎月次第に上がっていき、現在は平均で55点になりました。上位のドライバーは常に80点、90点を出し続けるようになって来ています。現在危険挙動(レッド)指導書はほとんどありません。注意挙動(イエロー)指導書は毎月印刷して個人に渡しています。

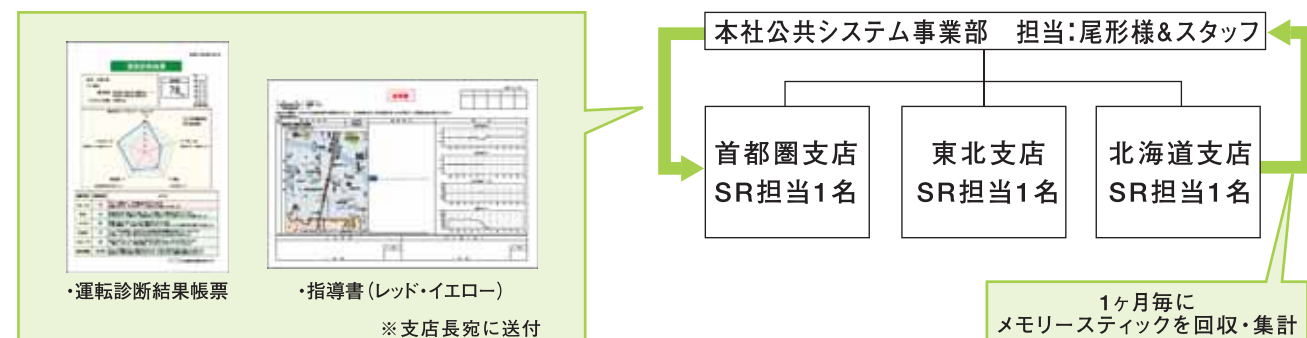
ドライバー教育としては、SRの他にも適性検査やビデオでの教育、実地運転教育も併用していますが、やはりSRの効果がとても大きいと思います。



「6ヶ月のフォロー運用」を終えて

SRを設置後、「6ヶ月フォロー」として、データ・テックから毎月1回、普段は細かく見ることでできない分析資料が送られてくるので、大変参考になりました。事故は精神的な負担が非常に大きいものです。特に人身事故は金銭的な賠償だけではなく大きな負担を背負う事になります。SRのお陰で重大事故はゼロとなり、全社的にも安全に対する意識がグッと高まり、事故が減少しました。まだ短期間の運用ですが、これだけの効果が得られた事に大変満足しています。これからも今以上に安全運転を目指していきたいと思っています。

安全管理組織



データ・テックは出展・講演します

展示会情報

物流革新フェア 2006

- ◎日時 2006年5月17日(水)~19日(金) 10:00~17:00
- ◎主催 社団法人 日本経営協会
- ◎入場料 無料
- ◎展示物 SRcomm SRPocket SRVideo M12P
- ◎お問合せ 物流革新フェア事務局 03-3403-8910
- ◎会場ホームページ <http://www.bigsight.jp/>

物流サービス業界の最新技術の紹介・展示

日時:2006年5月17日(水)~19日(金) 10:00~17:00
会場:東京ビッグサイト西1・2ホール内(東京都江東区有明3-21-1)
データ・テックのブース:LI-05

特別講演 (セミナーNo.3)

「セーフティレコーダを活用した事故防止とエコドライブの推進事例の紹介」

●講演者:日本ロジテム(株) 全日本トラック協会会長企業 品質管理部 部長 三浦 俊男 様

- 1.セーフティレコーダの導入経緯と効果
 - 2.セーフティレコーダを活用した安全指導例
 - 3.レッドカードを活用した安全指導例
 - 4.運転診断結果を活用した安全指導例
- 今後の取組み
省エネ法とセーフティレコーダの活用方法研究

●講演日時:5月17日(水) 14:00~14:45
場所:同会場内 ワークショップセミナー会場

※特別講演(セミナーNo.3)は事前登録が必要です。
お問い合わせ:(株)データ・テック営業部 岩谷まで 03-5703-7041

自動車技術展

人とくるまのテクノロジー展

- ◎日時 2006年5月24日(水)~26日(金) 10:00~17:00
- ◎主催 社団法人 自動車技術会
- ◎入場料 無料
- ◎展示物 SRcomm SRPocket SRVideo M12P FOMA対応SR-CAN
- ◎お問合せ 社団法人自動車技術会 03-3262-8214
- ◎会場ホームページ <http://www.pacifico.co.jp/>

自動車技術者のための日本最大の技術展

日時:2006年5月24日(水)~26日(金) 10:00~17:00
会場:パシフィック横浜展示ホール(神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1)
データ・テックのブース:小間No.16

特別講演

「全日本トラック協会の推進している大型貨物車のASV研究事例の紹介」

●講演者:日野自動車(株) 技術研究所 車両研究室 室長 榎本 英彦 様

- 1.全日本トラック協会が推進している大型貨物車 ASVの概要および実証実験のための計測システムの概要
- 2.研究事例の紹介
- 3.CAN対応及びFOMA対応の計測装置の紹介

●講演日時:5月26日(金) 13:00~13:30
場所:同会場内 新技術・新製品紹介コーナー

※先着100名様を予定しておりますので、お早めに会場にお越し下さい。

製品紹介

~ここまで進んできたドライブレコーダフォーラム~

☆SRシリーズの紹介 講演者:(株)データ・テック 取締役 宮坂 力
講演日時:5月26日(金) 14:20~14:30
場所:同会場内 2階アネックスホール